

令和7年度広陵町健康増進・食育推進事業報告及び令和8年度事業計画について

1 健康な生活習慣の普及

(1)身体活動・運動の推進

R7年度 事業内容	R8年度の方向性	関係機関																
◆地域巡回型健康教室「広陵元気塾」の実施 運動習慣の確立を目指し、保健師等が地域に出向く地域巡回型健康教室を実施した。 <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>年間開催回数(回)</td><td>55</td><td>55</td><td>60</td></tr><tr><td>参加者数(人)</td><td>1,254</td><td>1,388</td><td>1,563</td></tr><tr><td>新規参加数(人)</td><td>135</td><td>196</td><td>187</td></tr></table>		R5	R6	R7	年間開催回数(回)	55	55	60	参加者数(人)	1,254	1,388	1,563	新規参加数(人)	135	196	187	「骨折ゼロ」をテーマに掲げ年間60回(運動50回、栄養10回)を、毎月異なる内容で実施する。栄養講座では新規参加者が多い傾向にあるため、運動教室の案内を行い、新規参加者の増加と運動習慣定着を図る。	けんこう推進課 畿央大学 協力企業
	R5	R6	R7															
年間開催回数(回)	55	55	60															
参加者数(人)	1,254	1,388	1,563															
新規参加数(人)	135	196	187															
◆プロスポーツチームと連携した健康教室事業の実施 1)バンビシャス奈良、畿央大学と連携した「健康運動教室」「親子バスケットボール教室」を実施した。 (令和7年度新規事業) 【R7実績】参加者:健康運動教室41名、親子バスケットボール教室47名 2)大分トリニータと連携した「ライフキネティック体験」を実施した。 【R7実績】参加者:80名	プロスポーツチームとの連携は今年度も実施する。子育て世代や若い世代の方が参加しやすいよう、親子参加での開催を計画している。また年代別プログラムも検討し、参加者の満足度向上と継続参加につなげる。	けんこう推進課 畿央大学 プロスポーツチーム																
◆高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 通いの場等において、フレイル予防等の普及啓発活動や運動・栄養・口腔等のフレイル予防などの健康教育・健康相談を実施した。 ◆介護予防リーダー(KEEPの会)による通いの場等での運動の普及啓発・実践活動	1)通いの場等高齢者が集まる場に医療専門職が出向き、地域や対象者にあわせて健康教育・健康相談を実施。通いの場以外のグループや団体に対し、フレイル予防の重要性の普及啓発を行う。 2)通いの場等において、後期高齢者の質問票を活用するなど、フレイル状態にある高齢者等を把握し、生活機能向上に向けた支援を行う。 3)通いの場等において、介護予防・健康づくりのための運動の普及啓発・実践活動を行う。	介護福祉課 KEEPの会																

◆学校における運動量や運動時間増加の取組の実施 小学校において、なわとび週間やかけあしタイムなど、期間を設けて実施した。 縦割り活動で、体を動かすゲームや外遊びの時間を作った。	令和7年度と同様に、運動時間や運動量の増加の取り組みを実施する。	教育総務課
---	----------------------------------	-------

(2)禁煙の推進、受動喫煙の防止

第2次健康増進計画 第2次食育推進計画 指標	評価
喫煙している人のうち、たばこをやめる治療をする医療機関を知っている人の割合の増加	D

R7年度 事業内容	R8年度の方向性	関係機関
◆世界禁煙デーの啓発 5/31の世界禁煙デーにあわせ、がん予防推進員によるティッシュやリフレットの配布、喫煙者等への肺年齢測定をエコー・マミで実施した。 併せて「広陵町たらまん煙(受動喫煙)から健康を守る思いやり条例」についての周知を実施した。	1)5/29にイズミヤショッピングセンター広陵で中和保健所と合同で世界禁煙デーの啓発を実施した。 2)中村正和先生による講演会を「いつまでも元気に暮らすために～やっておくべきこと、やってはいけないこと～」と題して実施した。 3)喫煙による健康被害や受動喫煙防止について普及啓発を行う。	けんこう推進課 中和保健所 がん予防推進員 地域企業
◆防煙教室の実施 中学校2校において1年生を対象に、畿央大学の教授を講師に招き、たばこの防煙教室を実施し、禁煙の重要性について講義を行った。	R7年度同様に町内中学校1年生を対象に実施し、たばこの正しい知識の習得に努める。	けんこう推進課 教育総務課 畿央大学 中学校
◆妊娠届やパパママクラス・乳幼児健診でのたばこの害についての指導 母子健康手帳交付時・パパママクラス・新生児訪問や各種健(検)診において、喫煙者への禁煙の啓発や、喫煙している家族への受動喫煙防止の啓発を実施した。	R7年度に引き続き、母子健康手帳交付時や健(検)診時に若年層および子育て世代への指導や啓発を実施し、受動喫煙防止に関する知識普及を図る。また喫煙者へは禁煙に向けての医療機関の紹介等を行う。	けんこう推進課
◆集団健(検)診等での情報提供 若年者健診・集団特定健診・集団がん検診などの各種集団健(検)診において、喫煙者への禁煙の啓発や、喫煙している家族への受動喫煙防止の啓発を実施した。	健診の間診票より喫煙者や過去喫煙者へ肺年齢測定を実施しながら、肺の機能低下と喫煙や受動喫煙の影響を知ってもらい、禁煙希望者には医療機関の紹介等を行う。	

◆受動喫煙防止対策の実施 「広陵町たまらん煙(受動喫煙)から健康を守る思いやり条例」で定められた喫煙禁止区域を受動喫煙防止指導員が巡視した。	R7年度同様に、受動喫煙防止指導員による巡視及び啓発を継続し、さらに世界禁煙デー等のイベントにてチラシを配布する。また防煙教室の中で、条例の周知と受動喫煙防止に関する意識向上を図る。	けんこう推進課
--	---	---------

(3)メンタルヘルスの普及促進

R7年度 事業内容				R8年度の方向性	関係機関								
◆妊産婦への相談の実施 ・母子健康手帳交付時に個別面談を実施し、情報提供やメンタルに不調を抱える妊婦に対し連携機関と早期支援を行った。 ・パパママクラスにおいて、妊娠中、産後のメンタルヘルスや産後うつについて講義を実施した。				R7年度同様に、妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談支援を行い、産後うつ等の早期発見・早期支援につなげる。	けんこう推進課 子育て総合支援課								
◆学校におけるこころの相談、まなびの相談事業 臨床心理士等による、こころの相談、まなびの相談、子どもと親の相談を実施し、児童・生徒及び保護者へ不登校や発達等に関する支援を行った。				学校ごとの実施だった相談を見直し、R8年度からさわやかホールにて、こころの相談(不登校等)とまなびの相談(発達等)を組み合わせた「ここまな相談(2回/月)」及び子どもと親の相談を実施する。	教育総務課								
◆心の健康相談事業 <table border="1"><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>相談件数</td><td>2</td><td>6</td><td>7</td></tr></table>					R5	R6	R7	相談件数	2	6	7	さまざまな悩み事の相談を電話または来所により受け付け、メンタルヘルスの維持に繋げる。	社会福祉課
	R5	R6	R7										
相談件数	2	6	7										
◆イベント内での周知啓発 「いのちを守るまちづくり」イベント内で、ストレスチェック測定やゲートキーパーの役割等について周知啓発を実施した。				イベント時に自殺予防やこころの健康(ゲートキーパー)に関する普及啓発を行い、悩みを抱えた人への早期相談につなげる。	社会福祉課								

(4)適正飲酒の普及促進

R7年度 事業内容	R8年度の方向性	関係機関
◆個別指導の実施 特定保健指導、重症化予防指導でアルコール摂取が多い人に対し個別指導を実施した。	R7年度同様に実施し、適正飲酒に関する知識の普及と生活習慣病の重症化予防を図る。	けんこう推進課 介護福祉課

◆妊産婦への禁酒の啓発 母子健康手帳交付時に飲酒習慣について聞き取りを行い、妊産婦の飲酒が及ぼす悪影響について周知を行った。	母子健康手帳交付時に聞き取りを実施し、妊娠期からの禁酒の重要性について継続的に情報提供を行い、母子の健康保持・増進を図る。	けんこう推進課
--	---	---------

(5)歯科口腔保健の推進

R7年度 事業内容	R8年度の方向性	関係機関
◆妊婦歯科健診 妊婦への歯科健診を実施した(年間12回)。口腔ケアに対する意識を高め、かかりつけ医を持つことの推進につなげた。	母子健康手帳交付時に、乳幼児健診実施日に合わせ年間12回実施している妊婦歯科健診の必要性について周知し、受診勧奨を実施する。 また、妊娠期から歯と口の健康の重要性について普及啓発を行うことで、かかりつけ歯科医を持つことの推進につなげる。	けんこう推進課
◆乳幼児健康診査における歯科健診・個別指導・相談 1歳6か月児、3歳6か月児に対し、歯科健診・相談を実施した。また合わせて歯科衛生士による生活習慣や家族を含めた相談・指導を行った。健診後には地区担当保健師で受診状況等の把握や必要に応じ受診勧奨を行った。	R7年度同様に1歳6か月児、3歳6か月児健診において、歯科健診を実施する。歯科健診や個別相談を通じて、乳幼児期からのむし歯予防と望ましい口腔習慣の形成を図るとともに、家庭での口腔ケアの実践につなげる。	けんこう推進課
◆むし歯予防教室 町内全園(11園)を訪問し、年中、年長児に紙芝居を用いた歯みがきの重要性の話と、実際に歯ブラシを用いた磨き方の指導を実施した。	R7年度同様に町内全園を訪問し、紙芝居や磨き方の指導を通じて、口腔ケアの適切な方法を学び、むし歯予防につなげる。	けんこう推進課 こども課 町内各園
◆イベント内でのこどもの歯科健診・フッ素塗布 いのちを守るまちづくりイベント内で2歳半頃～小学2年生を対象に実施した。 【R7実績:参加者120名】 イベント内で実施することで、広く町民に歯科保健衛生について啓発することができた。	R7年度同様にイベント内でこどもの歯科健診やフッ素塗布を行い、親子で歯科保健衛生について考えてもらえるよう啓発を行う。	けんこう推進課

◆歯周病検診の実施 20・30歳と40～70歳までの5歳刻みに案内を送付した。※R6年度健康増進法改正により、対象者に20・30歳が追加された。 <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>対象者数(人)</td><td>3,390</td><td>4,412</td><td>3,844</td></tr><tr><td>受診者数(人)</td><td>112</td><td>105</td><td>126</td></tr></table>		R5	R6	R7	対象者数(人)	3,390	4,412	3,844	受診者数(人)	112	105	126	R7年度に再勧奨事業を実施したことで受診者が増加したため、今年度も継続し、またそれに加え広報やホームページ等を活用した周知を行う。また町内個別歯科医療機関で直接受診できるため、かかりつけ歯科医の定着や、歯周病検診の受診率向上と歯周病予防を推進する。	けんこう推進課
	R5	R6	R7											
対象者数(人)	3,390	4,412	3,844											
受診者数(人)	112	105	126											
◆介護予防出前講座 歯科衛生士による口腔ケア講座を実施し、口腔ケアの重要性を周知した。 【R7実績:実施回数1回 参加者15名】	高齢者自主グループに出前講座の周知を行い、依頼があれば講座を実施する。	介護福祉課												
◆高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 1)健診時の質問票で口腔機能低下のリスクがある者に口腔機能向上のための健康相談を行い、保健指導、受診勧奨を実施した。	1)健診時の質問票で口腔機能低下のリスクがある者に口腔機能向上のための健康相談を行い、医療受診につなげる。 2)通いの場で、骨折とオーラルフレイルの関係について、健康教育を行う。	介護福祉課												
◆「通いの場」(介護予防を目的とした自主グループ)活動支援 介護予防リーダーによる「誤嚥にナラン体操」を通いの場で実施し、参加者の意識向上を図った。	通いの場や健康教室と連携した口腔機能向上支援を実施する。	介護福祉課 KEEPの会												

(6)栄養・食生活の推進

①心と体を育む食育

第2次健康増進計画 第2次食育推進計画 指標	評価
朝食を欠食する人の割合(小中学生)	D
1日に野菜5皿以上食べる人の割合	D
「肥満(BMI25以上)」の割合の減少	D
低栄養傾向(BMI20以下)の後期高齢者の割合の増加の抑制	D

R7年度 事業内容	R8年度の方向性	関係機関
◆食育講座の実施 地域子育て支援拠点事業「なかよし広場」において保護者に対し管理栄養士による食育講座を実施した。 【R7実績】2回/年、参加者:こども16名、保護者16名	R7年度に引き続き、子どもの発達段階に応じた食育講座を実施し、保護者の食に関する知識向上と家庭での食育実践につなげる。	子育て総合支援課 こども課
◆「給食だより」による啓発 園・学校において「給食だより」を作成し、園児、児童生徒、保護者に対し配布した(1回/月)。園・学校での食育の取組や家庭でできる取組を「給食だより」や園の掲示板を使って、随時発信していくことにより関心の低い保護者にも自然と目にとまるような環境づくりを行った。	R7年度同様に実施し、子どもだけでなく保護者への働きかけを強化し、家庭における食習慣の改善を促進することで、児童の肥満予防や、望ましい食習慣の定着を図る。	こども課 教育総務課 こども園 小中学校
◆管理栄養士による相談の実施 ・乳幼児健診、妊婦相談、健康教室において保護者等に対し、管理栄養士による相談を実施し、食生活改善の実践方法等について提案を行った。 ・園において保護者に対し、随時、管理栄養士による相談を実施した。保育士と栄養士が密に連携し、こどもの食べる様子や健康状態、保護者との関わり方等の情報を共有することで、一人一人に合わせた食育を実施することができた。	R7年度同様に乳幼児健診時や、健康教室、各園での相談などで、ライフステージに応じた個別相談を実施し、一人ひとりの状況に応じた食生活改善と健康づくりを支援する。また、若年期からの適正体重の維持やバランスの良い食生活の実践を促し、プレコンセプションケアの普及を図る。	けんこう推進課 こども課
◆給食試食会の実施 園・学校において、保護者に対し給食試食会を実施し、給食の試食とともに食育の取組や幼児期、学童期の食事の大切さを説明した。 【R7実績】北かぐやこども園、小学校5校、給食センター(参加者計87名)	園、学校、給食センターにおいて試食会を実施し、望ましい食習慣や食育への理解を深める機会を提供する。若年期からの健康な食生活の重要性を保護者へ周知啓発する。	こども課 教育総務課 こども園 小学校

◆減塩の取組 ・小学校で給食時間に「減塩ソング」を放送した。 ・小学校各校の給食調理員に塩分濃度計を貸与し、毎日の塩分濃度の測定を実施した。 ・乳幼児健診の待合室に保健所作成の「減塩ポスター」を掲示した。	引き続き、給食時間を活用し、減塩ソングを放送することで、食育への興味・関心を促す。放送する学校数を増やすため、周知を行う。	小学校 教育総務課 けんこう推進課
◆親子料理教室の実施 親子で給食の献立の調理実習を行う「親子調理実習」を実施した。併せて栄養教諭による食育講座を行った。 【R7実績】参加者12組	R7年度同様に真美ヶ丘第一小学校において小学生親子を対象に実施する。親子で調理する楽しさを体験しながら、家庭での食育実践や地場産物への理解促進につなげる。	教育総務課
◆高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 低栄養リスク者に対し、訪問指導、面談による個別相談を実施した。	健診結果で、体重減少等のリスクのある人を抽出し、家庭訪問による個別支援を行う。 随時、口腔機能、身体活動の状況により、管理栄養士、保健師、歯科衛生士等が関わる。	介護福祉課

②持続可能な食を支える食育

第2次健康増進計画 第2次食育推進計画 指標	評価
広陵町産農産物を意識して購入している人の割合の増加	D

R7年度 事業内容	R8年度の方向性	関係機関
◆農業塾の実施 新たな農業の担い手を育成する農業塾(夜間座学2回/月)を実施した。 【R7実績】新規塾生:9名、夜間講座:9名、現場実習:9名	R7年度同様に農業塾を実施するとともに、実習場の拡張を図り、新たな農業の担い手育成と地域農業の活性化につなげる。	農業振興課
◆はしお元気村マルシェやパークゴルフ場等での地元野菜の販売 【はしお元気村マルシェ登録生産者数:144人】 はしお元気村マルシェは地域の買い物の場として地産地消に貢献しているが採算がとれていない状況である。パークゴルフは無人販売のため生産者の拡充が困難である。	はしお元気村マルシェ:事業実施は現状のまま継続する。登録生産者数の拡充に努める。	産業総合支援課

◆「ストロベリータウン広陵」の開催 広陵町の飲食店で広陵町産の「古都華」や「あすかるビー」を使用したメニューを提供した。 【R7実績】参加店舗:24店舗 参加店舗が増加し、県下では最大のイチゴイベントに成長。広陵町産いちごの普及啓発及び地産地消に貢献している。	事業実施は現状のまま継続。参加店舗の拡充に努め、地産地消を通じて食育と地域活性化を一体的に推進する。	産業総合支援課
◆農業体験、クッキング活動、菜園活動の実施 園、学校において、菜園・収穫体験や収穫した野菜の調理実習を行い、こどもたちの食への興味・関心を高めることができた。小学校においては、理科や生活科の授業と連携し実施した。 【R7実績】南保育園、北かぐやこども園、幼稚園2園、小学校5校	引き続き各園、小学校において実施し、食への興味・関心を高めるとともに、食の大切さや生産者への感謝の気持ちを育む。	こども課 教育総務課 こども園 小学校
◆給食での地場産物の利用 園・学校の給食献立の中で、地場産の物資を使用し、地場産率の向上に貢献した。地場産物が天候の影響を受けやすく納入が不安定であることから、予定どおりの実施ができない場合があることが課題である。	R7年度同様に生産者や納入業者と連携をとり地場産物を使用する。新たな献立の開発や、園児・児童生徒への地場産物について啓発を行う。	こども課 教育総務課 生産者
◆食品ロスについての取り組みを実施 ・小学校での委員会活動の中で、児童によるポスター作成や残食量調査などを実施し、残食を減らす取組を行った。 ・食べ物の大切さ等の啓発動画を作成し、小中学校の給食時間などに配信した。	R7年度に引き続き、学校での委員会活動や給食時間での動画視聴による啓発を継続し、食品ロスの現状や食べ物の大切さについて理解を深め、残食削減につなげる。	教育総務課 小学校 中学校

2 症状・疾病の発症予防

(1)がん対策

R7年度 事業内容	R8年度の方向性	関係機関												
◆がん検診の実施 胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん、前立腺がんについて、集団検診を年間9回実施した。子宮頸がん検診は若年者健診と同時実施し、無料の託児を設け、土曜日開催とし、若い世代が受診しやすい体制にした。個別検診では、胃がん内視鏡検診を1医療機関から5医療機関、乳がん検診も9医療機関から10医療機関と契約医療機関を拡充し、検診を受けられる環境整備を図った。 検診の結果、精密検査となった方への受診勧奨を実施した。	R7年度同様に集団検診(9回/年)、個別検診ともに受診しやすい検診体制を維持するとともに、精密検査対象者の受診状況確認と未受診者への受診勧奨を継続し、がんの早期発見・早期治療につなげる。	けんこう推進課												
<table><tr><td>がん腫別</td><td>胃</td><td>肺</td><td>大腸</td><td>乳</td><td>子宮頸</td></tr><tr><td>R6 精検受診率(%)</td><td>85.5</td><td>100</td><td>85.4</td><td>97.1</td><td>77.8</td></tr></table>	がん腫別	胃	肺	大腸	乳	子宮頸	R6 精検受診率(%)	85.5	100	85.4	97.1	77.8		
がん腫別	胃	肺	大腸	乳	子宮頸									
R6 精検受診率(%)	85.5	100	85.4	97.1	77.8									
◆がん検診の受診啓発の実施 ・無料クーポンの送付(乳がん・子宮頸がん) 送付者数:乳がん228人 子宮頸がん196人 ・受診勧奨事業 40～65歳の5歳刻みの年齢の方に対し、がん検診の案内を送付した。 30歳代の女性に対し、子宮頸がん検診のはがきを送付した。 ・再勧奨事業 肺がん検診、子宮頸がんの未受診者の方に対し、案内を送付した。 ・がん予防推進員作成の「健幸かわら版」を健康教室等にて配布し、がん検診の周知啓発を実施した。	R7年度同様に、無料クーポンの送付、受診勧奨・再勧奨(コール・リコール)事業を実施し、未受診者への個別勧奨を継続し、受診率向上と検診受診の習慣化を図る。 がん予防推進員作成の「健幸かわら版」を健康教室等にて配布し、がん検診の周知啓発を実施する。	けんこう推進課												

◆がん予防推進員の育成及び活動支援 R7年度登録数:10人 【主な取組】 ・健幸かわら版を作成し(年6回)、健康教室や講演会で配布した。 ・世界禁煙デーでの啓発や、かぐや姫まつりにおけるがん予防ブースでの啓発、イベントでの喫煙防止用絵本の読み聞かせ、喫煙禁止区域での吸い殻拾いなどを実施した。	R7年度同様にがん予防推進員の活動支援とR8年度は4期生養成のために、がんに関する講演会を開催し地域におけるがん予防啓発活動の充実を図る。	がん予防推進員 けんこう推進課
--	---	--------------------

(2)循環器疾患・糖尿病予防

R7年度 事業内容				R8年度の方向性	関係機関
◆特定健康診査の実施				集団健診を年間8回実施する。内1回を40代・50代限定とすることで、働き世代が受診しやすい環境をつくる。未受診者対策としてAIを活用した受診勧奨を継続し、さらに40代50代へは年齢に応じた動画を視聴できるQRコードを掲載し、受診率向上を図る。	けんこう推進課 保険年金課
	R5	R6	R7		
受診率(%)	44.3	43.5	46.3		
個別医療機関と集団健診年間8回を実施した。さらに、未受診者へはAIを活用し、個人にあった勧奨通知を作成し送付する受診勧奨を行うことで、受診率の向上につながった。					
◆特定保健指導の実施				対象者に対し、特定保健指導を実施する。利用率の向上を目指し、集団特定健診での初回面談実施や、当課で実施している「健康ライフサポート（保健指導）」について、医療機関から案内してもらえるよう受診医療機関の名前を入れたチラシの作成をするなど、利用勧奨の内容を工夫する。	けんこう推進課 保険年金課
特定健診の結果、生活習慣病リスクが高い方を対象に特定保健指導を実施し、生活習慣の改善のための指導を行った。					
未利用者へは、電話連絡をするともに、過去の対象歴からセグメント分けし、対象に応じたはがきを用いた利用勧奨事業を実施した。					
	R5	R6	R7		
実施率(%)	8.6	7.2	15.0		

(3)骨折予防

R7年度 事業内容	R8年度の方向性	関係機関
◆骨粗しょう症リスク判定事業の実施 肺がん検診の画像データを利用し、骨粗しょう症を判定する事業を実施した。精密検査が必要となった方へは、医療機関への受診勧奨を行った。	R7年度と同様に、肺がん検診との同時実施を継続し、骨粗しょう症の早期発見と治療開始につなげる。	けんこう推進課

◆骨に関する講演会の実施 「いつまでも自分の脚で歩く～骨から始まる健康な毎日～」と題し、講演会を実施した。 【R7実績】参加者71名	骨粗しょう症や転倒予防に関する正しい知識の普及を図り、行動変容につながる啓発のため講演会を開催した。	けんこう推進課
◆「広陵元氣塾」での啓発 骨折ゼロをテーマに掲げた運動プログラムを実施した(50回/年)。骨をつくる栄養についての講座を実施した(10回/年)。	R7年度同様に運動をテーマとしたプログラムを50回、栄養をテーマとした講座を10回実施する。運動・栄養の視点から骨折予防を推進し、健康寿命の延伸を目指す。	けんこう推進課 畿央大学
◆「いのちを守るまちづくりイベント」での啓発 株式会社ジャパンヘルスケアと畿央大学の協力で、「足健診」を実施し、足の健康状態を知ることで100歳まで歩けるからだづくりの取組を行った。また、大塚製薬株式会社の協力で、プレコンセプションケアの視点で骨量のピークである若年層に健康な生活習慣を意識するための啓発を実施した。	R7年度同様に、大学等の協力を得て足健診の実施とプレコンセプションケアの啓発の中で、若い世代からカルシウム摂取、適度の運動、健康的な生活習慣を意識することを目指す。	けんこう推進課 協力企業 畿央大学
◆高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 通いの場で「骨折予防のための食事」「骨折予防に効果的な運動」の健康教育を実施した。 R7年度実績 「骨折予防のための食事」(32か所34回402人) 「骨折予防に効果的な運動」(1か所2回42人)	健康教育・健康相談での知識の普及・通いの場等の健康教育・健康相談・訪問指導、個別健康相談	介護福祉課

(4)COPD対策

R7年度 事業内容	R8年度の方向性	関係機関
◆COPDをテーマにした講演会の実施 「もっと知って欲しいCOPD慢性閉塞性肺疾患～ずっと元気に過ごすために～」と題し、講演会を実施した。 【R7実績】参加者42名 講演後には、希望者に肺機能測定を実施した。 ◆COPD受診勧奨事業 集団検診やイベント時に肺年齢測定を実施し、COPDハイリスク者については、地区医師会や奈良医大の協力を得て、かかりつけ医から呼吸器専門医へつながる体制を構築した。	R7年度同様に、COPDに関する講演会を実施し、COPDの認知度向上を図るとともに、喫煙者に早期受診の重要性について啓発を行う。COPD受診勧奨事業として、肺年齢測定の結果を活用し、かかりつけ医の紹介を通じて専門医の受診を勧奨していく。	けんこう推進課

3 生活習慣病等の疾病の早期発見と重症化予防

R7年度 事業内容	R8年度の方向性			関係機関																			
◆若年者健診の実施 20～39歳を対象とした集団健診を実施した。希望者に乳房エコー検査、子宮頸がん検診の同日実施をした。6月3回、9月3回(各月2回は土曜に実施した。)	今年度も年間6回の日程で実施し、SNSなどの広報媒体を活用した周知を強化し、受診者数の増加を図る。 また、今年度は健診の結果、要指導・要医療に該当する方に、保健指導を実施するため積極的な電話勧奨を行う。 女性のやせについても、プレコンセプションケアの視点から保健指導の中に取り入れていく。			けんこう推進課 保険年金課																			
<table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>実施回数(回)</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td></tr><tr><td>受診者数(人)</td><td>264</td><td>357</td><td>325</td></tr><tr><td>要指導(人)</td><td>117</td><td>170</td><td>161</td></tr><tr><td>要医療(人)</td><td>61</td><td>101</td><td>83</td></tr></table>		R5	R6		R7	実施回数(回)	6	6	6	受診者数(人)	264	357	325	要指導(人)	117	170	161	要医療(人)	61	101	83		
	R5	R6	R7																				
実施回数(回)	6	6	6																				
受診者数(人)	264	357	325																				
要指導(人)	117	170	161																				
要医療(人)	61	101	83																				
◆肝炎ウイルス検査の実施 毎年度40歳になる年の方以上で、過去検査を受けていない方を対象に実施した。	R7年度同様、受診勧奨を実施する。感染しても自覚症状がほとんどないため、早期発見し、陽性判明時の確実な受診・治療へとつなげる。			けんこう推進課																			
<table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>受診者数(人)</td><td>180</td><td>200</td><td>153</td></tr></table>		R5	R6		R7	受診者数(人)	180	200	153														
	R5	R6	R7																				
受診者数(人)	180	200	153																				
◆緑内障検診の実施 40歳以上70歳までの5歳刻みの方を対象に実施した。	40歳以上70歳までの5歳刻みの方へ受診案内を送付し、疾病の早期発見・早期治療につなげることで、重症化予防を図る。																						
<table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>対象者数(人)</td><td>3,390</td><td>3,422</td><td>3,215</td></tr><tr><td>受診者数(人)</td><td>291</td><td>306</td><td>279</td></tr></table>		R5	R6	R7	対象者数(人)	3,390	3,422	3,215	受診者数(人)	291	306	279											
	R5	R6	R7																				
対象者数(人)	3,390	3,422	3,215																				
受診者数(人)	291	306	279																				

4 「オール広陵」による健康増進・食育推進を支える環境づくり

(1)健康と食育を支える人材の育成

R7年度 事業内容				R8年度の方向性	関係機関
◆がん予防推進員や介護予防リーダー(KEEP)の活動支援 【がん予防推進員】 イベントにて、がん検診の受診勧奨やがん予防の普及啓発を実施した。また「広陵町たまらん煙(受動喫煙)から健康を守る思いやり条例」周知のため路上喫煙禁止区域の吸い殻拾いを年3回実施、年6回「健幸かわら版」を発行した。 【介護予防リーダー(KEEP)】 広陵町介護予防リーダーを対象にフォローアップ講座、ステップアップ講座を実施した。				【がん予防推進員】 R7年度同様、地域の健康づくり活動の担い手として継続的な活動支援を行い、担当課と協働で、住民主体の健康づくりを推進する。 【介護予防リーダー(KEEP)】 広陵町介護予防リーダーを対象にフォローアップ講座、ステップアップ講座を実施することで継続的な活動支援を行う。	介護福祉課 けんこう推進課
◆がん予防推進員や介護予防リーダー(KEEP)の養成、ゲートキーパーの育成 【介護予防リーダー(KEEP)】 広陵町介護予防リーダー養成講座を実施した。 【ゲートキーパー】 ゲートキーパー養成講座の実施。 民生委員・児童委員や保護司など、住民からの悩み事を聞く機会の多い団体を対象に自殺対策強化月間(3月)に実施した。				地域で健康づくりを支える人材の育成を行い、活動の継続と担い手の確保を図る。 【介護予防リーダー(KEEP)】 広陵町介護予防リーダー養成講座を実施する。 【ゲートキーパー】 ゲートキーパー養成講座を実施する。 【がん予防推進員】 任期3年で終了を迎えるため、R8年度はR9年度からのがん予防推進員登録のための養成講座を実施する。	介護福祉課 社会福祉課 けんこう推進課
	R5	R6	R7		
参加者数(人)	21	17	17		
◆いのちを守るまちづくりイベントの実施 住民に健康やいのちを守る手段を学ぶ機会を設けるため、各関係機関と連携して実施した。				関係機関と連携し、様々な視点からいのちを守る手段を学ぶ機会を提供することで、住民の健康意識向上を図る。 R8年度は7月12日(日)実施予定。	けんこう推進課 社会福祉課 介護福祉課 子育て総合支援課 防災・生活安全課 図書館 畿央大学
	R5	R6	R7		
参加者数(人)	461	622	561		

(2)大学等との連携による健康・食育の推進

R7年度 事業内容	R8年度の方向性	関係機関
◆畿央大学と協働した健康教室等の開催 ・地域巡回型健康教室「広陵元気塾」において、理学療法士が講師として講座を実施した。 ・中学生の防煙教室の実施や、女性の健康週間に関する講演会等の開催をした。	地域巡回型健康教室「広陵元気塾」では、R8年度から理学療法士に加え、管理栄養士による講座を実施する。引き続き大学等の関係機関と連携した健康づくりを展開する。防煙教室についても引き続き連携し実施する予定。	けんこう推進課 畿央大学

(3)健康になれる環境づくり

R7年度 事業内容	R8年度の方向性	関係機関
◆「やさしおベジ増しプロジェクト」の周知 身体にやさしい塩加減で野菜を増した食生活の普及促進のため、イベント等で奈良県作成のリーフレット等の配布やポスター掲示を行った。	中和保健所と合同で、イズミヤショッピングセンター広陵での「食育月間」「世界禁煙デー」「歯と口の健康週間」の合同啓発を実施し、関心の低い層にも健康的な生活習慣を身に付けられる環境づくりを行う。	けんこう推進課 中和保健所 地域企業

(4)地域のつながりの強化

第2次健康増進計画 第2次食育推進計画 指標	評価
近所のかかなり多くの人との面識・交流がある者の増加	D
隣の人が誰かも知らない者の減少	D

R7年度 事業内容	R8年度の方向性	関係機関
◆子育て支援広場「なかよし広場」の開催 身体測定や子育て相談を実施し、親同士が交流できる機会を提供し、仲間づくりを支援した。	R8年度開園のときわ広陵こども園で子育て支援が開始されることで子育て世代の新たな交流を推進する。SNSや広報等により周知を行う。	子育て総合支援課
◆「通いの場」やサロンの活動支援 広陵町介護予防活動支援事業や介護予防防出前講座を実施した。	広陵町介護予防活動支援事業や介護予防防出前講座を実施し、地域住民が継続的に交流できる場づくりを支援し、社会参加の促進やフレイル予防につなげる。	介護福祉課

◆地域巡回型健康教室「広陵元気塾」の開催 各小学校単位で実施することで、開催場所の近くの方々が参加しやすく、参加者同士のコミュニケーション場として活用してもらえる機会を提供した。	新規参加者が、他の参加者とコミュニケーションを取りながら継続して参加できる環境づくりを行う。	けんこう推進課
--	---	----------------